



緑と調和した、
賑わいと安らぎのあるまち
江南区

区役所だより

こうなん

令和6年(2024年)
8月18日
第417号

区の人口	
人口	67,557人 (+2)
男	32,918人 (+6)
女	34,639人 (-4)
世帯数	28,554世帯(+17)
令和6年7月末現在(カッコ内は前月比、住民基本台帳による)	

編集・発行：新潟市 江南区役所 地域総務課 〒950-0195 新潟市江南区泉町3丁目4番5号 電話：025-383-1000(代表) FAX：025-381-7090



かめだ祭り

300年以上の歴史を背景に、流麗な踊りと樽の響きが特徴の「亀田甚句流し」、力と気合いをぶつけ合う「大岩万燈押し合い」。

亀田の夏をより熱くする、年に一度の祭典にぜひお越しください!

☎ 亀田商工会議所
(☎025-382-5111)
産業振興課 商工観光・文化スポーツグループ
(☎025-382-4809)



亀田甚句流し

古くから亀田郷に伝わる伝統的な盆踊りで、昨年は1000人近くの方が参加しました。歌詞には亀田の豊かな田園風景や機織りの様子などが表現されています。

おいわまんどう 大岩万燈押し合い

岩をかたどって装飾を施した燈籠を、亀田木遣りに合わせて熱くぶつけ合います。



スケジュール

●8月25日(日)

18:20~18:50 中島大月樽っ子クラブ
樽ばやし(祭り本部やぐら前)

19:30~21:00 亀田甚句流し

●8月26日(月)

18:00~18:30 キッズダンス(祭り本部やぐら前)

18:20~19:40 亀田小学校・亀田西小学校
子ども大岩万燈押し合い

18:45~21:30 大岩万燈押し合い

20:10~20:30 Chibi Unity(チビユニティ)
ダンスパフォーマンス

通行止めと臨時駐車場のご案内

●通行止め

区間 ・本町四(三ツ又)交差点~ゆきよし跨線橋交差点(本町通り)
・若松踏切~諏訪神社~本町通り

日時 8月25日(日)・26日(月) 18時~22時

●バスの運休・う回

18時以降に当該区間を通行するバスは、う回または区間運休します。

路線バス…う回(農協前は臨時バス停)
区バス…区間運休 亀田下町~アスパーク亀田

☎ 新潟交通観光バス(株)(☎025-271-1155)



※8月18日時点の情報です

長い歴史を受け継いで

亀田甚句は、夏の風物詩として農家の方から愛され、江戸時代から踊り継がれてきました。かつては、お盆の時期、諏訪神社の境内で何重もの輪を作っていました。1972(昭和47)年に亀田バイパスが完成したことをきっかけに、現在の会場である本町通りでも踊るようになったそうです。当時は近郷からも大勢の人が集まり、仮装盆踊り大会や樽たたきコンクールなど、ユニークな取り組みも行われていました。1995(平成7)年からは「かめだ祭り」として、大岩万燈押し合いと合同での開催となり、現在も盛り上がりを見せています。

3年前に、伝統的、文化的に貴重な財産である亀田甚句を後世まで受け継いでいこうと、保存会が設立されました。踊り、笛、樽、唄など、それまで個々に活動してきた各分野の専門家が集まり、次世代の育成や当日の演奏など、祭りのさらなる盛り上がりを目指して活動しています。

飛び入りも歓迎! ぜひご参加ください

亀田甚句は普通の民謡流しとは異なり、道路の中央を向きながら横に踊り進むのが正しい踊り方です。これは、かつて神社境内を輪になって、輪の中心を向いて踊っていた時と同じようにして踊っているためです。お客さんにお尻を向けることになるので、初めて見る方は驚くかもしれませんね。二列になって、向かい側にいる人と顔を見合わせながら踊るのはとても楽しいですよ。

コツは「楽しく踊ること」です。飛び入り参加や見よう見まねでも大丈夫ですので、ぜひお気軽にご参加ください。



亀田甚句保存会 会長
田村 敏郎 さん

未来の担ぎ手を育てています

岩万燈の歴史は古く、1664(寛文4)年に始まったとされ、伊勢神宮の禊場である二見ヶ浦にある二つの岩がルーツになっています。実は、岩万燈は昭和初期に一旦途絶えており、1975(昭和50)年に有志が立ち上がり、大正時代の資料を基に復活させました。亀田岩万燈保存会は、担ぎ手が徐々に減少し始めた2006(平成18)年に結成されました。

現在は、大岩万燈の制作に加え、2つの小学校で歴史や木遣りを教えたり、中学生が参加できる仕組みづくりを行っています。担げるようになるのは高校生からなので、それまでの間、切れ目なく岩万燈と関わってもらうことで、伝統を受け継ぐ次世代を発掘・育成できたらと考えています。

岩万燈は亀田の誇りです。市外・県外に出た若者が祭りの日には帰ってきて参加するとか、岩万燈が好きだから地元に残るといった選択に繋がれば嬉しいです。何より、大岩万燈は、担いでいても楽しいです。住んでいる地域や経験の有無を問わず、誰でも申し込めますので、ぜひ一緒に参加して、この熱い祭りを盛り上げていきましょう!

☎ 8月20日(火)までに亀田商工会議所
(☎025-382-5111)へ



大岩万燈制作の様子



亀田岩万燈保存会 会長
堀 俊一 さん